

名古屋音楽大学

お話し
松下雅人学部長
森雅史専任講師



松下学部長



森専任講師

音楽を総合的に学べる環境

名古屋音楽大学の一番の魅力は、専攻・コースの壁を超えて自由に授業を履修できることです。主専攻のほかに、副専攻と副科実技を履修できる。メジャー・マイナー制を導入しているので、クラシックだけでなくジャズやポップス、邦楽まで、あらゆるジャンルの学生が相互に交流する機会があり、自ずとアンサンブルする力も養われていきます。

声楽コースの特徴と魅力

声楽のレッスンを中心に、2年次からオペラコースか歌曲コースを選択します。

オペラコースを選択した場合、

2年次で演技の基礎、バレエ、日舞、コンテポラリーダンス、演技、そして舞台人に欠かせない舞台マナーを学びます。3年次では言葉と向き合うためにレクタテীবオセッコを学び、4年次でいよいよオペラを全曲上演します。出演はもろんのこと、裏方もすべて学生が担いますが、これは2年次からの学びの成果です。

歌曲コースでは、ドイツ語、フランス語、イタリア語、日本語を中心に、まんべんなく指導を受けることができます。初めから戸を狭めないで、まずは全てに接してみる。その中から専門分野を見つけて磨いていけば良いと思います。

オペラとプロジェクトンマツピングのコラボレーション

名古屋音楽大学は、学校法人同朋学園に属しており、系列に名古屋造形大学があります。その環境を生かし、昨年の第1回めいおん音楽祭でオペラとプロジェクトンマツピングのコラボレーションを披露しました。名古屋音楽大学

のオペラコースの学生がドンジョヴァンニを上演し、名古屋造形大学の学生がプロジェクトンマツピングを制作、投影しましたが、今すぐ世の中に出しても恥ずかしくない内容で、観客をあっと驚かせました。他で見たことがない、新たな試みを発信できたことが、学生たちの刺激にもなったようです。こういった学生からの発案をスピード感よく実現させてあげるのが、私たち教員の役目だと思っています。

名古屋音楽大学がめざす教育

教員はすべての学生の顔と名前を把握し、和気あいあいと学べる環境作りを心がけています。海外の地方劇場では、衣装係もオーケストラも合唱も、カフェテリアの従業員まで家族のようなコミュニケーションを作っていますが、まさにそのような雰囲気です。

私たちがめざしているのは、本校で学んだ学生たちが、自分で育つ力を身につけること。そのために、彼らの変化をつぶさに感じとり声をかけます。本人が成長を実感することで、さらなる研鑽を積み、音楽家としても人間としても見違えるような成長を遂げてほしいと思っています。



第1回めいおん音楽祭「ドンジョヴァンニ」

名古屋音楽大学

〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町7-1

【声楽を学べる学科】

音楽学部

〈声楽コース〉

教授：長野眞理子、松下雅人

専任講師：森雅史

特任教授：大西由則、山本みよ子

他 講師 2名

〈舞踏・演劇・ミュージカルコース〉

准教授：田尾下哲

特別講師：西川まさ子(日本舞踊)

野々村明子(現代舞踏)

他 講師 4名